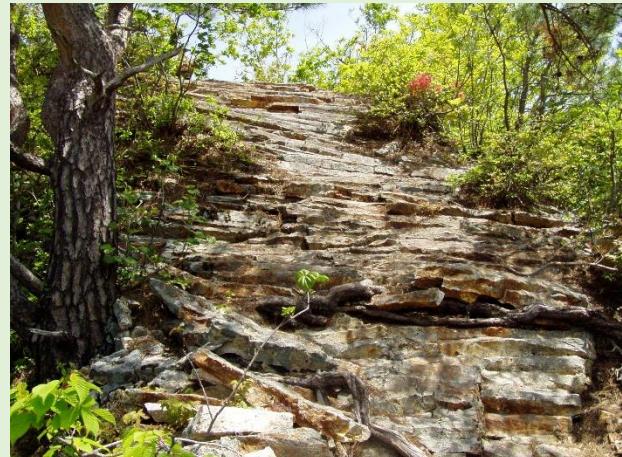


『文化の基盤としての自然』

～なぜ天然記念物が文化財なのか～

『天然記念物』が文化財であることを意識している人はどれくらいいるだろうか。なぜ自然なのに文化財なのか？

本講座では、天然記念物について分かりやすく紹介し、秋田に所在する『二つの世界遺産』にも触れながら、自然と文化との関係について考えます。



国指定天然記念物 筑紫森岩脈



講師 蒔田 明史 氏（秋田県立大学理事兼副学長）

【略歴】

京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学 博士（理学）
文化庁文化財保護部文化財調査官（天然記念物担当）を経て、
1999年より秋田県立大学助教授、のち准教授、教授
2011年より秋田県文化財保護審議会委員（現会長）
2018年より秋田市文化財保護審議会委員

日時 令和8年2月28日（土）午前10時～11時30分
会場 中央市民サービスセンター洋室4（秋田市役所3階）
定員 先着50名
費用 無料
申込み 令和8年2月9日（月）午前8時30分から

令和8年2月27日（金）午後5時まで
秋田市文化振興課に電話（018-888-5607）または上記QRコードから
問合せ 秋田市文化振興課文化財担当（018-888-5607）



ホームページ内の
申込みフォームから
ご入力ください。